

3年間の輝き忘れず



小山校長(左)から卒業証書を受け取る田村さん=28日、新温泉町芦屋の浜坂高

美方郡3高校で卒業式

225人が学びびや巣立つ

美方郡内の高校3校で28日、一斉に卒業式があり、計225人の卒業生が家族や恩師への感謝と3年間の思い出を胸に学びやを巣立った。県教委がマスク着用を求めない方針を打ち出して初の卒業式となり、未着用のまま式典に臨んだ生徒の姿もあった。

(前田一樹)

浜坂高(新温泉町芦屋)では74人が卒業。式典では卒業生一人一人の名前が読み上げられ、代表として田村七海さんが登壇し、小山朋子校長から卒業証書を受け取った。

式辞で小山校長は「この3年間で皆さんの確かな成長を感じた。培った経験や自ら考え行動する力を生かして、変化の激しい時代をしっかりと生き抜いてほしい」と激励の言葉を贈った。

卒業生代表として答辞を述べた岡野華実さんは、新型コロナウイルスの影響で制約が多かった3年間の振り返りながら「さらさら」と輝く高校生活にはいつも周囲の人の支えがあった。みんなと一緒に学び、過ごした時間は絶対に忘れない。

3年間ありがとう(ございまして)」と、家族やクラスメートたちに感謝していた。香住高では98人、村岡高では53人が卒業した。